

ティースメイト[®] ディセンシタイザー

ハイドロキシアパタイトで象牙細管を封鎖

術者にも患者さんにもやさしい、使いやすさ。

濡れた歯面に塗れる

前処理では、患部の唾液やプラークを綿球などで拭き取るだけでOKです。

エアブロー不要

塗布後は余剰ペーストを水洗またはうがいなどで除去するだけ。完全乾燥は不要です。

光照射不要

本品は粉材と液材を混和することで硬化反応を開始する水硬性の材料です。光照射不要なので、光が届きにくい部位にもお使いいただけます。

効果を最大限に引き出す5つのポイント

「ティースメイト[®]ディセンシタイザー」を有効にお使いいただくため、下記のポイントをご確認ください。

- point 1** 「こすり塗り」の回数

30秒の擦り込みが重要です。1回塗りで効果がなかった場合は、2回塗りしてください。
- point 2** 塗布が難しい部分への「こすり塗り」

遠心部や歯間部などは歯間ブラシなどを用いて確実に擦り込んでください。
- point 3** 製品の混和

必ず規定の割合で混和するようにし、適度な柔らかさのペーストにしてください。液材は、混和皿に垂直に立てて採取してください。粉材は、採取する前に容器を軽く振り、計量スプーンを用いて内蓋ですり切って採取してください。
- point 4** 水洗の方法

余剰ペースト水洗の際は、弱圧のウォーターシリンジで洗い流してください。
- point 5** 患者さんの状態について

咬合圧の強い患者さん、ブラキシムの強い患者さんには効き目が弱い可能性があります。また、知覚過敏の発生部位が明確でない場合には、周辺の歯質への塗布をおすすめします。

歯科用知覚過敏抑制材料

ティースメイト[®] ディセンシタイザー

- 販売名 ティースメイト ディセンシタイザー
- 一般的名称 歯科用知覚過敏抑制材料
- 医療機器認証番号 224ABBZX00014000
- 医療機器の分類 管理医療機器(クラスII)

■セット



標準価格 9,800円²⁴¹²¹⁰
 ・粉材(6g)1本 ・液材(4.8mL)1本
 ・混和皿(B)1個 ・計量スプーン(TD)1本
 ・アプリケーションブラシ(スーパーファイン(白))50本

■単品



・粉材(6g) 標準価格 6,500円²⁴¹²¹⁶
 ・液材(4.8mL) 標準価格 3,300円²⁴¹²¹⁷
 ・計量スプーン(TD) 標準価格 500円²⁴¹²²⁰
 ・アプリケーションブラシ(スーパーファイン(白))(50本) 標準価格 1,800円²⁴¹²²¹

知覚過敏だけではもったいない どんな処置にも

TMD

EETH ATE ESENSITIZER

CASE 01 生活歯形成後の処置に

CASE 02 支台歯セット時の知覚過敏に

CASE 03 歯石除去後の処置に

CASE 04 ホワイトニング後の処置に




●標準価格の後の6ケタの数字は商品コードです。●掲載商品の標準価格は、2012年12月21日現在のものです。標準価格には消費税等は含まれておりません。
 ●仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。●ご使用に際しましては、製品の添付文書を必ずお読みください。


歯と同じ成分だから、 「使えるシーン」がこんなにいっぱい

「ティースメイト®ディセンシタイザー」の主成分は、リン酸四カルシウムと無水リン酸カルシウム。硬化後は、高濃度(93%)のハイドロキシアパタイトとなり、生体親和性に優れています。また、弱アルカリ性(pH約10)なので、歯質や歯肉にやさしく使用できます。


カンタン3ステップ!



1 混和
混ぜるだけで使用できます。小さじ1杯で1~3歯分になります。混和後10分間は使用可能です。



2 30秒以上こすり塗り
生体親和性に優れているので、ポケットや隣接部にも使えます。臭いもありません。ペーストが白いため広範囲に使用する場合塗布した場所がわかります。



3 水洗又はうがい
光照射や乾燥は不要。余剰ペーストは流れ、目立ちません。

CASE 生活歯形成後の処置に

01 装着前に塗っても、接着力はそのままで。

「ティースメイト®ディセンシタイザー」は湿潤下でも問題なく使えるので、浸出液がある場合でも知覚過敏予防のため形成後に塗布できます。被膜ができないので、テンポラリークラウンを装着しても浮き上がりの心配もありません。また、接着強さも変わらないため、最終補綴物の接着前にも使用できます。



■接着性・接着耐久性はほぼ同等! (レジンセメントに併用した場合)
形成象牙質の処置後に接着材料を併用しても、接着強さはほとんど変わりません。



CASE 歯石除去後の処置に

03 歯がしめないから、患者さんの負担を軽減。

歯石を除去すると象牙質が露出し、知覚過敏が発生しやすくなる場合があります。スクレーピングやルートプレーニング後に「ティースメイト®ディセンシタイザー」を歯肉溝に塗ると知覚過敏を予防できます。ラバーカップなどで歯面全体を塗布すると表面性状が整います。



CASE 支台歯セット時の知覚過敏に

02 患者さんのセメントの除去時の痛みを緩和。

フルキャストクラウンセットの際、テンポラリークラウンを外すと歯がしみて、セメントを除去できないことがあります。そんなとき、「ティースメイト®ディセンシタイザー」でこすり塗りながら除去する方法をおすすめします。*症状が軽減した後、探針などで残りのセメントを除去します。



■優れた象牙細管の封鎖性



CASE ホワイトニング後の処置に

04 歯面全体に塗るときは、ラバーカップがおすすめ。

ホワイトニングすると、歯がしみやすくなる場合があります。ホワイトニング後に「ティースメイト®ディセンシタイザー」を塗るとクラックに抑制材が入り込み、刺激から歯を守ります。



ラバーカップによる塗布
※綿球なども使用可能です。

この材料の基本形は、アメリカ歯科医師会パフエンバーガー研究所で開発されたものです。基本材料の製造方法については、同研究所のLaurence C. Chow先生、高木章三先生ならびに東京都開業の菅原明喜先生にご指導いただきました。当社では、知覚過敏抑制材に最適化した特長を持たせるために、粉体特性、製造方法、微量添加物等に改良を加えています。この材料の基本技術についてお知りになりたい場合は、以下の文献をご参照ください。
1) Brown, W.E. and Chow, L.C.: A new calcium phosphate setting cement, J Dent Res, 62, 672, 1983. 2) 菅原明喜, L.C. Chow and 高木章三: Calcium phosphate cement を応用した象牙質知覚過敏症の治療に関する研究, 歯材器, 8(2): 282-294, 1989 3) 菅原明喜: 骨再生のテクノロジー 改訂新版 一骨再生の概念と臨床応用一, ゼニス出版(2011).